

NPO法人 家庭的保育全国連絡協議会 平成 29 年度家庭的保育 現任研修

実施要綱



1. 趣旨

国の「家庭的保育者等研修事業実施要綱」では家庭的保育者の資質の向上等を図るため、必要な知識や技能の習得を目的とした研修について、すべての家庭的保育者を対象として年1回（分割して実施可）研修を実施することとしています。当協議会ではこの要綱に沿い、家庭的保育者の実情を踏まえた現任研修を実施しています。

本研修の特徴

- 1) 国の規定する7科目計18時間の現任研修（下段参照）を網羅する研修内容です。
- 2) 本研修の講師陣は、各分野の専門家により構成されています。
- 3) 家庭的保育者がお互いの実践を通じて学びあうことを目的として、家庭的保育者からの実践報告や保育者同士の語り合いの時間を多く取り入れるように計画しています。
- 4) 家庭的保育者のほか、家庭的保育に関わる方や関心をお持ちの方も参加できます。

2. 主催

NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会 理事長 水嶋 昌子

〒241-0005 神奈川県横浜市旭区白根4-3-8

FAX 045-489-6115 Mail info@familyhoiku.org <http://www.familyhoiku.org/>

後援 厚生労働省（名義使用申請中）

3. 対象

家庭的保育者 家庭的保育補助者 家庭的保育支援者 巡回指導員 行政担当者
地域型保育・類似事業の保育者 保育所職員 ほか、どなたでも参加できます。

4. 定員

関東会場 全11講座 定員80名
(講座7・8 定員40名)

関西会場 全2講座 定員40名

5. 受講料

1講座 2,500円（関東講座11、関西講座12は無料）

6. 受講修了証の発行

各講座修了時に、参加者には受講修了証をお渡しします。なお、遅刻・早退が1時間を超える場合は受講修了証をお渡しすることができません。

7. お問い合わせ先

NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会

研修事業部（尾木）

電話 03-3714-1419

ファックス 03-3712-8513

メール kenshu@familyhoiku.org

<参考>家庭的保育者等研修事業実施要綱による
現任研修（すべての家庭的保育者 対象）

	科目	時間数
A	最近の児童福祉行政	1時間
B	家庭的保育の運営・管理	2時間
C	子ども（3歳未満児）の心身の発達と保育	3時間
D	子ども（3歳未満児）の健康管理	3時間
E	子ども（3歳未満児）の栄養管理	3時間
F	子ども（3歳未満児）の安全と環境	3時間
G	保護者理解と対応	3時間
	合計	18時間

自治体で実施される研修なども含めて、上記の内容がカバーされるように、毎年研修を受講しましょう。

8. 研修日程及び研修テーマ

<関東会場>

講座番号	日 程	ガイドライン科目	テーマ 及び 講師	会場・受講料・申込締切日
1	平成 29 年 7 月 9 日(日) 9 時半～11 時半	A 最近の 児童 福祉 行政	家庭を理解するための視点 「子どもの貧困対策」や「ひとり親家庭支援」について学びながら、家庭という養育環境について考えてみましょう。 新保 幸男 (神奈川県立保健福祉大学 教授)	* 会場: エムワイ貸会議室 (東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」 徒歩 1 分、JR「四谷」徒歩 15 分) * 受講料: 各 2500円
2	平成 29 年 7 月 9 日(日) 12 時半～15 時半	C 子どもの 心身の 発達と 保育	子どもの発達と遊び・遊具 子どもの発達過程に適した遊びについて 今保育室にある遊具を基に考えてみましょう。 齊藤 多江子 (こども教育宝仙大学 准教授)	* 定 員: 各 80名 * 申込締切日:平成 29 年 6 月 30 日(金)
3	平成 29 年 9 月 16 日(土) 9 時半～12 時半	C 子どもの 心身の 発達と 保育	保育所保育指針改定のポイント —3 歳未満の保育を具体的に考える 保育所保育指針改定(2018 年度)のポイント を踏まえ、3 歳未満の保育で何を大切にす べきか学びましょう。 阿部 和子 (大妻女子大学教授)	* 会場: すみだ産業会館 (JR 総武線、東京メトロ半蔵門線 「錦糸町」徒歩 1 分) * 受講料: 各 2500円
4	平成 29 年 9 月 16 日(土) 13 時半～16 時半	E 子どもの 栄養 管理	家庭的保育における給食提供 —自園調理を考える 自園調理を進める上での課題について学 びを深めると共に、自園調理の進め方につ いて保育者同士で語り合しましょう。 本田まり (神戸女子短期大学准教授)	* 定 員: 各 80名 * 申込締切日:平成29 年9 月 8 日(金)
5	平成 29 年 11 月 3 日(金) 9 時半～12 時半	B 家庭的 保育の 運営・ 管理	まち保育のススメ —地域との交流を考える まちにあるさまざまな資源(モノ・ヒト・ コト)を活用しながら保育を行い、地域交 流を如何に深めるかを考えます。 三輪 律江 (横浜市立大学准教授) 尾木 まり (家庭的保育全国連絡協議会)	* 会場: 神奈川産業振興センター 市営地下鉄「関内」徒歩 2 分、JR 京 浜東北・根岸線「関内」または「桜木 町」徒歩 7 分 * 受講料: 各 2500円
6	平成 29 年 11 月 3 日(金) 13 時半～16 時半	F 子どもの 安全と 環境	おさんぽマップワークショップ —みなとヨコハマを歩こう 子どもの視点で散歩を楽しみ、おさんぽ マップをつくるワークショップです。 三輪 律江 (横浜市立大学准教授)	* 定 員: 各 80名 * 申込締切日:平成29 年10 月 27 日(金)

本研修のミッション

- 1 家庭的保育の質の向上
- 2 専門的学びの共有化
- 3 保育者同士の学びあいを大切に

講座番号	日 程	ガイドライン科目	テーマ 及び 講師	会場・受講料・申込締切日		
7	平成 29 年 12 月 3 日(日) 9 時半～12 時半	F 子どもの 安全と 環境	子どもに異変！さあどうする？ －適切に動ける保育者になろう 子どもの異変を発見した時にどのように対応するか、実際に身体を動かしながら確認しましょう。 高橋良子(全国保育園保健師看護師連絡会) 尾木まり (家庭的保育全国連絡協議会)	* 会場:スクエア荏原 (東急目黒線「武蔵小山」または 東急大井町線「戸越銀座」徒歩 10 分) * 受講料: 各 2500円 * 定 員: 各 40名 * 申込締切日:平成 29年11月24日(金) * 午前の部、午後の部、どちらか 1 科目にお申し込みください。		
8	平成 29 年 12 月 3 日(日) 13 時半～16 時半		9	平成 30 年 2 月 10 日(土) 9時半～12 時半	D 子どもの 健康 管理	乳幼児期に見られる臨床的問題と支援について 子どもの障害、情緒的問題(習癖)、低出生体重児の育ちなどについて学びます。 安藤 朗子 (日本女子大学准教授)
10	平成 30 年 2 月 10 日(土) 13 時半～16 時半	G 保護者 理解と 対応	子どもを真ん中に －保護者との連携・協力－ 保護者との信頼関係づくりを日々のコミュニケーションのあり方から考えます。 福川 須美 (駒沢女子短期大学名誉教授)	* 受講料: 各 2500円 * 定 員: 各 80名 * 申込締切日:平成30年2月2日(金)		
11	平成 30 年 3 月 11 日(日) 10 時半～12 時	F 子どもの 安全と 環境	家庭的保育の安全講習会 家庭的保育を行う上で必ず押さえておきたい SIDS への対応や窒息死回避の安全対策について、一度は必ず受講されることをお勧めします。リピーターも多い講座です。 NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会	* 会場:大田区産業プラザpio (京浜急行線「京急蒲田」徒歩 3 分 または JR「蒲田」徒歩 13 分) * 受講料: 無料 * 定 員: 80名 * 申込締切日:平成30年3月2日(金)		

<関西会場>

講座番号	日 程	ガイドライン科目	テーマ 及び 講師	会場・受講料・申込締切日
12	平成 29 年 10 月 15 日(日) 10 時～11 時半	F 子どもの 安全と 環境	家庭的保育の安全講習会 家庭的保育を行う上で必ず押さえておきたい SIDS への対応や窒息死回避の安全対策について、年に 1 度確認しましょう。 NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会	* 会場:京都テルサ JR 京都駅(八条口西口) 徒歩 15 分 近鉄東寺駅・地下鉄九条駅徒歩 5 分 * 受講料: 講座 12 無料 講座 13 2500円 * 定 員: 各 40名 * 申込締切日:平成29年10月6日(金)
13	平成 29 年 10 月 15 日(日) 12 時半～15 時半	C 子どもの 心身の 発達と 保育	3 歳未満児の保育 －保育所保育指針改定から 2018 年度から改定される保育所保育指針について学び、3 歳未満児の保育のあり方を考えましょう。 鎮 朋子 (梅花女子大学准教授)	

9. 申込方法

事前申込み制です。受講料のお振り込みをもって予約完了とします。

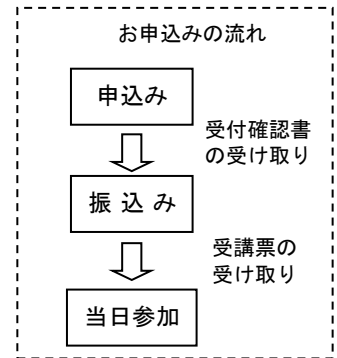
- (1) 別紙の申込み用紙に必要事項をご記入後、ファックス、メール、郵送などの方法でお申込み下さい。なお、電話での申込みは受け付けかねます。

申込みは複数講座を一括して申込みすることも、1講座ずつ申込みすることもできます。

1講座ずつ申し込まれる場合は、申込書をコピーしてお使いください。

申込書はホームページからもダウンロードすることができます。

<http://www.familyhoiku.org/>



申込先

NPO法人家庭的保育全国連絡協議会 研修事業部

ファックス 03-3712-8513 メール kenshu@familyhoiku.org

郵送の場合 〒152-0004 目黒区鷹番1-13-20-202 子どもの領域研究所内

- (2) 申込書受付後、受付確認書をお送りします。確認書に記載されている受講料を指定の金融機関に指定期日までに振り込み下さい。指定期日までに受講料のお振り込みがない場合は、キャンセルとみなします。

(3) 受講票の送付

各講座開催日の10日前までには受講票及び会場案内などの詳細をお送りします。受講票は受付時に提示が必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。講座によっては、事前アンケートなどの提出物がある場合もあります。

- (4) 申込みが定員に達した場合は、受付を締め切ります。

受付締切講座については、ホームページ(<http://www.familyhoiku.org/>)で確認していただけます。

- (5) 自治体が研修費用を負担する場合の支払い方法については、ご相談ください。

10. キャンセルについて

お申込み後、諸事情によりキャンセルをする場合は速やかに文書でお知らせ下さい(ファックス、メール可)。

その際、返金を希望されるか、他の講座に振り替えを希望されるかをお知らせください。

返金の場合は、振込手数料を引いて返金させていただきます。

研修実施日の前日までに研修事業部へキャンセルを申し出していない場合は、返金は致しかねます(他の講座への振り替えは可能です)。

ご不明な点はお問い合わせください。

NPO法人 家庭的保育全国連絡協議会 は、家庭的保育者をつなぐ全国的な組織です。

○家庭的保育の普及・発展を通して、地域の子育て支援に資することを目的としています。

○家庭的保育者が手を取り合い、より良い家庭的保育事業となるように努めています。

○家庭的保育を創設・推進してきた国や自治体と協力関係を結んでいます。

○研修などを通じて家庭的保育の質の向上を図っています。

○公的な保育の一環として家庭的保育を行う個人・団体のネットワークとして、活動しています。

問合せ・連絡先 〒241-0005 横浜市旭区白根 4-3-8 Fax 045-489-6115

ホームページ <http://www.familyhoiku.org/>